

## 2001年度環境会計実績

沖電気は、環境保全活動への取り組みを効果的かつ効率的に行うために、1999年度より環境会計システムの確立に向けた取り組みを実施してきました。2001年度までに、沖本体と海外を含む連結グループ会社20社の導入を完了しました。

2001年度集計結果を以下に示します。

●環境保全コストは、投資額3.3億円、費用額31.9億円

となりました。

●環境保全効果は、廃棄物最終処分量がゼロエミッション活動の推進により前年度比49%減少しました。

CO<sub>2</sub>排出量も前年度比7%減少しました。

●環境保全対策に伴う経済効果の内、実質的効果額は10.4億円でした。

### ■環境保全コスト

●投資額：3.3億円(前年度：7.5億円)

●費用額：31.9億円(前年度：30.7億円)

(単位:億円)

環境保全分類	主な取組内容	費用額
事業エリア内費用	環境関連の設備維持管理費、減価償却費 等	23.2
上・下流費用	使用済製品の回収・リサイクル費用 等	1.8
管理活動費用	環境マネジメント運用費用 等	6.1
研究開発費用	製品・製造工程の環境負荷低減の研究開発費用 等	0.3
社会活動費用	緑化・地域活動などの環境改善費用、環境報告書作成費用 等	0.5

### ■環境保全対策に係る効果

●環境保全効果

環境負荷指標	主な取組内容	負荷(総量)	前年度との差
CO <sub>2</sub> 排出量(t-CO <sub>2</sub> )	エネルギー使用量削減 等	246630	18540減少
廃棄物最終処分量(t)	廃棄物削減 等	308	294減少

●環境保全対策に伴う実質的効果額:10.4億円(前年度:10.1億円)

(単位:億円)

実質的効果分類	主な取組内容	効果額
費用削減効果	電気などの使用量削減、リサイクルに伴う廃棄物処理費用削減、資源削減 等	9.3
実収入効果	有価物の売却 等	1.1

集計期間 / 2001年4月1日~2002年3月31日まで

集計の条件 / ● 算出基準のベースは、環境省「環境会計システムの導入のためのガイドライン(2000年版)」に準拠しています。

- (1) 投資額の減価償却は、3年間の定額償却により計算し費用額に含めています。それに伴う実質的効果は減価償却期間(3年間)と整合させ計上しています。
- (2) 環境保全コストとそれ以外のコストが複合したコストは、環境保全に係わる部分だけ集計しています。
- (3) 費用額のうち人件費は、環境保全業務に従事した時間により按分しています。
- (4) 環境保全効果は、生産活動の環境負荷低減量を集計しています。
- (5) 集計対象範囲の敷地内で環境負荷を一体管理している関係会社分も一部含んでいます。

## 事業活動への資源投入と環境への排出

沖電気の事業活動への資源投入と環境への排出の概況は次の通りです。

